

授業と評価の年間計画

教 科	芸術	科 目	書道 I
使用教科書（発行所）		書道 I（教育出版）	
履修条件 対象生徒	選択必修 普通科・理数科 1年		
学習目標	書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化について理解を深める。		
学習方法	【授業】 主な授業活動は作品制作と鑑賞を中心として学習する。書道の知識や技術の習得だけではなく、臨書活動や創造活動を通して「心」や「感性」を豊かにする。 【家庭・補習・その他】 授業時間内で作品を完成させるが、期限に間に合わない場合は放課後等を利用して作品を完成させる。		
学習計画 と ねらい	1 1学期 (1) 期末期査まで ア 書写から書道へ イ 漢字仮名交じりの書 ウ 漢字の書（楷書） 2 2学期 (1) 期末考査まで ア 落款と印 イ 漢字の書（行書） ウ 半切（行書） 3 3学期 (1) 学年末考査まで ア 仮名の書 イ 漢字仮名交じりの書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校書写の学習内容を確認するとともに、高校書道の目標や学習内容を知る。 ・ 自分の好きなことを書いて、自己表現の楽しさを味わう。 ・ 古典に基づく学習の意義と創作の関連について理解する。 ・ 楷書の成立過程と基本的な点画や線質の表し方と用筆法・運筆法を理解する。 ・ 簡単な姓名印を制作することにより、書を生活に生かす態度を育てるとともに、他の芸術分野との関連について考える。 ・ 行書の成立過程と基本的な点画や線質の表し方と用筆法・運筆法を理解する。 ・ 仮名の成立過程と用筆・運筆法を理解し、その技法に関心を持ち、表現技法を身に付ける。 ・ 漢字と仮名の調和した線質の表し方、目的や用途に即した形式と表し方を身に付ける。 ・ 意図に基づく表現の構想と工夫ができるようにする。 	
評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解している。 書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し、表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりしている。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。
評価方法	「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価規準をもとに、①提出物（作品・レポート）②授業態度・意欲・出席状況などを総合的に判断して評価する。		
その他	1 授業で使用する消耗品（半紙・墨液）等は、教材費で賄う。 2 大筆・小筆・筆巻き等は各自で準備すること。		